

学校運営協議会 活動報告書（第1学期）

学校名 芦屋市立潮見中学校

校長名 岡田 浩一

開催日 令和8年5月21日（木）

出席者 運営委員7名（定数9名）

1 今回の協議会での主な内容（議題・協議事項など）

- ・校長より「学校経営方針（グランドデザイン）」についての説明があり、全会一致で承認された。
- ・教頭よりスライドを使って、学校の様子を説明した。
- ・校長より潮見中の目指す教育について、スライドを使って説明した。
- ・その中で「居場所づくり・幼稚園との連携」「探究学習」「ダイバーシティ」「防災活動の充実」「教員の働き方改革の推進」「生徒の主体性を大切にした活動」等の説明があった。
- ・生徒会の生徒より「SHIOMI 改革（通学カバンの変更）」について、委員に対してプレゼンをおこなった。
- ・トライやるウィークについての説明。

2 委員から出された主な意見や感想

- ・学校経営方針の中の「職員にとって働きがいのある学校」とはどのようなことか。
- ・高校では、生徒指導は「生徒支援」という名称にしているところもある。潮見中学校の取組は、生徒の主体性を育むことを大切にしており、生徒支援の活動をしていると感じる。
- ・生徒が防災士の資格を取得する（年3回の講習がある）ために協力していただけると嬉しい。
- ・トライやるウィークで、幼稚園や小学校に生徒が来ているが、子どもたちに頼りにされ、積極的に生き生きと活動している。

3 協議内容を受けての学校の今後の取組

- ・教師が「伴走者」として子どもたちを支援し、自分で考えることができる子どもを育てていきたい。
- ・自由進度学習や探究活動を普通の授業で取り入れて進めていきたい。
- ・不登校の人数が多い状況の中で、潮見幼稚園との連携で子どもの居場所づくりを行うなど、支援を続けていく。
- ・業務改善の一環として、毎学期発行していた「潮」を廃刊したり、教育DX化を推進したりするなど取組を進めていく。
- ・校区の3校で、防災研修を行い、地域と防災教育を進めていき、ゆくゆくはEARTH員と子どもとで防災訓練を行えたらよいと考える。

4 当日の会議の様子

